



大洲市

No.135 2016年 4月号

社協だより

編集/発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲 270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>
大洲市社協 検索

共同募金 実績報告

共同募金実績額
12,907,346円

あたたかい協力
ありがとうございました!



平成27年度 共同募金種別実績表								(単位:円)
地区名	戸別募金 募金額	法人募金 募金額	学校募金 募金額	街頭募金 募金額	職域募金 募金額	イベント募金 募金額	その他の募金 募金額	募金額合計 募金額
肱南	547,330	161,500	0	0	0	0	82,000	790,830
久米	362,430	114,000	0	4,044	0	0	133,000	613,474
肱北	297,540	118,500	0	4,300	0	0	217,000	637,340
喜多	742,309	417,217	0	0	0	0	264,300	1,423,826
平	367,600	352,180	0	0	0	0	36,000	755,780
平野	299,000	156,881	5,404	0	0	0	102,000	563,285
南久米	199,500	47,000	0	0	0	0	130,000	376,500
菅田	498,000	372,198	11,364	0	0	0	165,000	1,046,562
大川	150,500	15,000	0	0	0	0	161,000	326,500
柳沢	190,000	0	0	0	0	0	0	190,000
新谷	587,800	102,500	27,107	22,748	0	0	216,632	956,787
三善	144,040	69,400	2,738	0	0	0	153,000	369,178
八多喜	275,000	65,780	6,029	0	0	0	356,000	702,809
上須戒	87,000	19,000	0	0	0	0	51,000	157,000
長浜	1,021,650	328,000	62,706	40,180	91,148	5,500	563,866	2,113,050
肱川	344,312	97,000	14,219	5,011	79,788	0	217,124	757,454
河辺	150,500	116,000	15,909	0	44,000	27,840	183,635	537,884
事務局	0	35,960	74,841	92,815	291,736	30,500	63,235	589,087
計	6,264,511	2,588,116	220,317	169,098	506,672	63,840	3,094,792	12,907,346

平成27年度実績内容については、「社協だより特集号」で詳しく掲載いたします。

平成二十七年年度 大洲市地域福祉（ボランティア）研修会開催

二月二十七日（土）、大洲市総合福祉センターにおいて、「大洲市地域福祉（ボランティア）研修会」（大洲市くらしの相談支援センター）を開催しました。今年度は、「障害特性を持つ方も安心して暮らし続けられる地域をめざして」発達障害を知って深める」をテーマとして、地域の福祉・ボランティア関係者や学校関係者、発達障害・障がい者支援に関心のある方等を対象に行いました。

開会行事の後、日野公三先生（大洲市出身、明達館高等学校理事長校長兼SNECセンター長）を講師にご講演をいただきました。

先生は、様々な事情や就学上の悩みを抱えた生徒たちのために、学校教育はやれることがたくさんあるとの思いで学校を設立し、そういった生徒たちに、本人なりの特徴や強みを自覚できるようじっくりと育成する体制づくりの実践をされています。そして発達障害などスペシャルニーズを持つ子どもたちも、生涯学び続けられる人になれることを願い、生育環境や障害の有無等で学ぶ機会が障害・制限されたりすることのない社会

講師 日野公三先生



近年、発達障害者は百六十万人を超え、更に「学校に行けない」、「出勤できない」、「ひきこもり」などの二次障害、三次障害を併発する方は三十代以上が全体の半数以上を占めていると言われています。

発達障害は、生まれながらの脳機能の障害と考えられ、人から気づかれにくい障害です。親の育て方や本人の努力不足が原因ではありません。あらゆる場所で普段の生活支援が必要ですが、特性に合った生活環境を整えることで地域社会で生活することができ

ます。発達障害の種類と特性については、障害を持ちながらも各界で活躍している有名人の話も交えて説明がありました。一部ご紹介

します。

①自閉症スペクトラム

知的障害と言語発達の遅れがある「自閉症」、知的障害のない「高機能自閉症」、知的障害と言語発達の遅れが無い「アスペルガー症候群」、そのほかの自閉性障害を含む。

②LD（学習障害）

読む、書く、計算する、推論する、聞く、話すなどの基本的学習能力のうちのどれかに修得の困難がある状態。基本的には知的障害をとまなわ

③ADHD（注意欠如多動性障害）

気が散りやすい、同じ失敗を繰り返す、落ち着きがないなど行動面の障害が特徴。基本的には知的障害をとまなわ

以上三種類に分類されており、次のような特性があります。

●相手の気持ちやその場の空気を読むことができない。マナーやルールの意味が理解できずマイペースな行動をとる等（社会性の障害）。

●言葉を文字通りに受け取り、冗談や慣用的な表現などが通じにくい。自分が興味を持つている話題を相手に一方的に話す。表情や態度、口調、身ぶり手ぶりなどの意味が理解できない。自分も無表情で抑揚のない口調で話す（コミュニケーションの障害）。

●スケジュールや物事の手順、物の配置などにこだわり、変更を強いられるとひどく混乱し、ときにはパニックに至る。自由な雰囲気



アイスブレイク「餃子じゃんけん」で盛り上がりました

境より、規律や秩序を重んじる環境の方が安心して行動できる。興味のあることには、何時間でも熱心に取り組むが、それ以外はほとんど関心を示さない（想像力の障害）。

特性の現れ方やどの程度困難なのかは人により異なり、周囲の環境や接し方によっても変わるという点では、認知症と共通する部分も多いかもしれません。更に今の子どもたちに関しては、日本の景気低迷時期に生まれ育つなど時代的に見て成功体験が少なく、あまり良い思い出がないことが影響して自己肯定感を得にくかったり、家族形態の変化等により目の前にいる人の言葉がすべてになつてしまふ傾向があります。そこでかけられる言葉（声かけ）次第で今後の生活が違ってきます。話を聴いてあげる人がどの程度周りにいるか

まごころのおくりもの 1月分

金銭の部（指定分）

《肱南地区社協へ》

泉 秀 哉 様 大 洲

《平地区社協へ》

菅 章 様 東大洲

《南久米地区社協へ》

井 上 輝 行 様 横須賀市

《菅田地区社協へ》

東 茂 一 様 菅田町

森 本 晋一郎 様 菅田町

《大川保健福祉協議会へ》

高 本 幸 様 森 山

《柳沢地区社協へ》

宮 岡 敬 様 柳 沢

《肱川地区社協へ》

岩 田 忠 義 様 肱川町

《特別養護老人ホーム
かわかみ荘様へ》

草 莽 の 一 蛭 様 大洲市

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

がとても大切になります。
次に先生は、当事者を支援するにあたって心にとめておきたいことについて、東田直樹氏の映像や南雲明彦氏のお話も例にしながら話されました。福祉全般に通じることですが、当事者にとつての課題とは、「できないこと（弱み）」ではなく「伸びしろ（強みを伸ばすこと）」なのです。言葉に出してひとつひとつほめること。最初から大きな目標にせず、手順を具体的に示しながら、スモールステップで達成できるように支援すること。そして安心・集中でき、自己肯定感・共生感を感じられる場所があるということ。大切なことは、一番近くにいる人による障害特性に合った一貫性のある支援と伴走です。

最後の質疑応答では、「愛媛にも SNEC センターののような学校はできますか。いつ頃できますか」、「障害者の就職はひろがりですか」、「東田直樹さんの本を購入します。親子で良い話が聴けました」、「就労支援の仕事をしていいますが、何十年と歯科受診できていない方にどのように受診の声をかけましたら良いですか」、「発達障害支援で先生が感じられたことを教えてください」等の質問に大変わかりやすく答えていただきました。
当事者にとつて、学びやすい（働きやすい、暮らしやすい）環境とは「自分の力だけではできないけれど、他者の支援があれば問題解決できる状態にあること」です。
障害特性を持つ方も安心して暮らし続けられる地域を目指し、発達障害の特性を知ること、専門家だけでは対応しきれない複雑・



当日は市内を中心に約250名の参加をいただきました

※1 自閉症にしてベストセラー作家。海外でも翻訳出版され注目されている。著書に「自閉症の僕が飛び跳ねる理由」他。二〇一一年アットマーク国際高校（二〇〇四年日野先生設立）卒業。
※2 ディスレクシア（読字障害）による自分の経験を生かし、生きづらさを抱えている子どもの未来を考える活動を行っている。明達館高校の「共育」コーディネーター。二〇〇六年アットマーク国際高校卒業。

多様化した近年の様々な問題に、ボランティアや地域の住民の方々も「地域のふくし力（⑤）だんの④らしの④あわせ」を考える機会になった研修会でした。



最後に記念撮影をしました

「カヌー・スタードーム作り」参加者募集中

カヌーやスタードーム作りで楽しく体を動かし、親睦を深めながら「シンク・タンク」の活動を知ることができます。



主催 全日本レクリエーションクラブ「シンク・タンク」
会場 国立大洲青少年交流の家、肱川
期日 平成28年4月30日(土)12時30分集合～
 5月1日(日)14時解散(1泊2日)
募集人数 15名
募集対象 「シンク・タンク」の行事に興味・関心のある方
 どなたでも
参加費 1人3,500円(保険料他諸経費含む)
申込方法 はがき又は電話・FAXにて名前、住所、郵便番号、
 年齢、電話番号を明記の上、右記までお申し込み
 ください。

申込締切 4月21日(木) 必着

※天候によってはカヌーができないことがあります。

＜お申し込み・お問い合わせ先＞
 全日本レクリエーションクラブ
 「シンク・タンク」事務局 中居 敏子
 〒795-0063
 大洲市田口甲2279-2
 電話(FAX兼) 0893-23-4126

俳句ひろば

弱りゆく足労るや春を待つ

岩本 富良

評 何処が悪くてもいけません、
 よく足から弱くなると聞きます。

評 足を鍛えるためには歩け歩けと
 云われます。足を労りながら春を待
 つ作者です。

ゆるやかに椅子に座りて春を待つ

村田 みのり

評 そう、これでいいのです。一日
 一日を心ゆたかに過ごしたい
 ものです。

紅梅のふくらむ夫の遠忌かな

西本 榮子

評 日に日にふくらむ紅梅に、ご主
 人への思いを深くされる作者
 です。

被災地へ深まる思い春を待つ

宮崎 正雄

評 日ざしの明るさに春は近くま
 で来ていると感じながら被災
 地の方への思い一入の作者です。

子供らは遠しよ雪の降りしきる

高橋 フミエ

評 雨につけ、降る雪につけ親とい
 う者は子供を思うものです。本
 当に親とはありがたいものです。

ストーブに皆と集へば楽しかり

川向 フサ子

評 皆と語り合つのもよし、静かに
 座っているのもよし。ストーブ
 のあたたかさの伝わってくる句で
 す。

窓の雪静か眠りにつきにけり

平田 幸子

評 雪の夜の静けさ、明日を祈って
 眠りにつく作者です。

窓際の風の寒さの日暮かな

川本 ヨシ子

評 窓から伝わってくる寒さ、それ
 も日の暮の何となくすうつと
 くる風の寒さ、日暮の感じがよく出
 ています。

■俳句コーナーは、白岩チツ子先生に
 担当していただいております。皆様か
 らのお便りをお待ちしております。

地域福祉係

☎ 23-0313
 23-0295

心配ごと相談所案内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	【一般相談】毎週月・水 【介護相談】毎週金 【弁護士法律相談※要電話予約】毎月第1・3火(4月5日と4月19日) 【司法書士等法律相談】毎月第2・4・5火および毎週木 大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※祝日を除く
	長 浜 支 所 4月22日(金)大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
	肱 川 支 所 4月 5日(火)大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
	河 辺 支 所 4月 8日(金)大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午
問い合わせ先 本所 TEL23-0313(代表、弁護士相談予約) TEL23-5629(相談室直通) 長浜支所 TEL52-1194 肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510	